

決戦前夜へむけて

1 あわてない。

各教科科目の選択のマークや、自分の名前のマークなど、必要な情報については、慌てないでしっかりとマークし、点検時には、指差し確認をすること。

さらに、自分が選択した教科科目を間違いないで、問題を解き始めること。その場合、最終的な時間の確認をして、1問何分かを計算しておおよその時間内回答を目標にし、解答欄にマークをきちんと記入すること。後からいっぺんに記入すると、時間を間違えたりしたときに取り返しがつかないから、ひとつづつキチンとマークをしていくこと。

2 あせらない。

1問の時間をおおよそ区切って回答していくわけだが、問題文を読んでいる最中にも、時間を頭の片隅に置き、情報を取捨選択する意識を研ぎ澄ませながら、確実にひとつひとつこなしていくこと。できない問題に無理に固執したり、できないことを焦ったりしないで、淡々と機械的に解答を積み上げていくこと。マークシートを汚さないように注意して、残り時間を確認しながら進めること。

見直しには、焦って思い込みで消してしまったりしないで、きちんと論理的な状況を見つめなおして訂正を行うこと。

3 あきらめない。

最後の1分まであきらめないこと。30秒で1問は解けるので、2問は解ける時間を1分として、最後の5分間を有効に使うこと。冷静に判断するコツをつかむと、本当に1分が3分くらいの長さの感覚ができるので、1秒1秒の集中力を信じること。ゆっくり時間が流れ始めたらこっちのものとなるので、その時を待つこと。ゾーンに入る感覚は誰にも訪れるものである。

4 明日を信じる。

平均点は、数日後にしかわからないし、答え合わせをする時間があるのなら次の教科科目に集中して切り替えることが大切なので、取った点数は、月曜日に判断を回すべし。明日を信じることで、今を信じることができるのだ。

どんなスポーツの競技においても、全国大会の決勝は、最後の20秒からの1点勝負になったり0コンマ0何秒の世界の競り合いなので、実際、3月31日までの戦いをどこかでやめてしまうと勝負が決まる。最後の1球、最後のワンプレーまで勝負はわからないのであるから、継続を旨とするべし。まだまだ、戦いは始まったばかりである。大切なのは磐城の日々を信じることだ。

